

今回は、精神科医師の
伊藤正尚科長に
お話を聞いてみましょう。



Q 精神科とは、どんな診療科なのですか？

A うつ病・統合失調症・不安障害など、身体に異常が見つからないのに精神的な症状があるものから、認知症や身体の病気に伴って発生する様々な精神症状まで診療します。年齢も、子どもからお年寄りまで幅広く扱っています。最近は、高齢化に伴って物忘れを理由に訪れる人が増えています。認知症とは限らないので、うつ病などとの見分けが必要になります。また、注意欠陥多動性障害や自閉性障害など発達障害に対する認識の高まりによって、診察を必要とする子どもたちが増えています。

さて、少子高齢化の問題だけでなく、現代は大変ストレスが多い社会環境です。働き盛りの人たちが、とりわけ中年以降のうつ病にも重点的に関わっていかなければなりません。過重労働がうつ病やそれに伴う自殺という重大な結果に関係することが分かっているので、企業とも連携を図っていく必要があると感じています。精神科の常勤医は4人でしたが、今年6月から女性医師が加わり5人体制になったので、さらにきめ細かい対応ができると思います。

近年、精神科を受診することに抵抗感は少なくなったようですが、米沢ではまだまだ敷居が高いと感じる人も多いと思います。一頃テレビCMで「お父さん、眠れている？」と子どもが父に問いかける場面がよく流れました。長引く不眠は、うつ病などの重要なサインです。2週間以上続く場合は気軽に受診してください。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>